

▶海外からの参加もあつた
5年ぶりの渋川山車まつり



3年余りにわたったコロナ禍を乗り切り、今年の夏は市内各地でたくさんの祭りが行われました。渋川へそ祭りや渋川山車まつりをはじめ、赤城地区の猫祇園、古巻地区の納涼



こんにちは!!

市長です

Vol.70

「まだ!! 祭りだ!!」

私もできる限り多くの祭りに伺いましたが、思った以上に多くの人が参加して驚きました。子どもたちは、法被を着て元気に大人たちは焼きそば作りに精を出したり、高齢者は笑顔で輪踊りを楽しんだりと、世代を超えて、誰も皆、心から楽しそうでした。

コロナ禍の中、こうやって人々が集まる機会が制限されたため、社会では孤独・孤立に悩む人が増えたといわれています。そういう意味でも、祭りは地域の文化や伝統をつなぐだけではなく、年代や環境を超えて人々を結ぶという大きな意義があることが分かりました。コロナ禍を経て、祭りの素晴らしさを再認識し、今後も大切に守っていかなければと思います。

市でも4年前から地域のまつりの実施を応援するため、提灯の修理や法被新調などの費用を助成しています。来年の夏も、その先も、各地のまつりが盛り上がりしていくとよいと思います。